

教草女房形氣

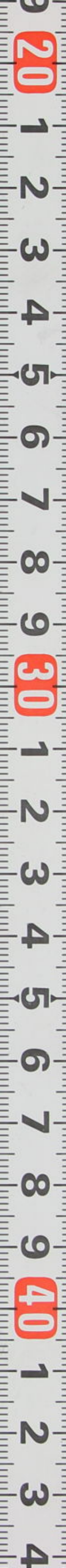
山東京山著

卷

七



~ 13
3580
23



門 13
 3580
 23

000

目書房文兌發堂榮文

考槃餘事

明屠赤水著
 東溪源謙校

白紙摺明朝綴
 映入全部四冊

題畫詩選

岡崎盧門著

全仕立全三冊

書畫皆宜

笑疑氏撰輯

白紙摺明朝綴
 映入全部三冊

題畫詩刪

森川竹德著

全仕立全二冊

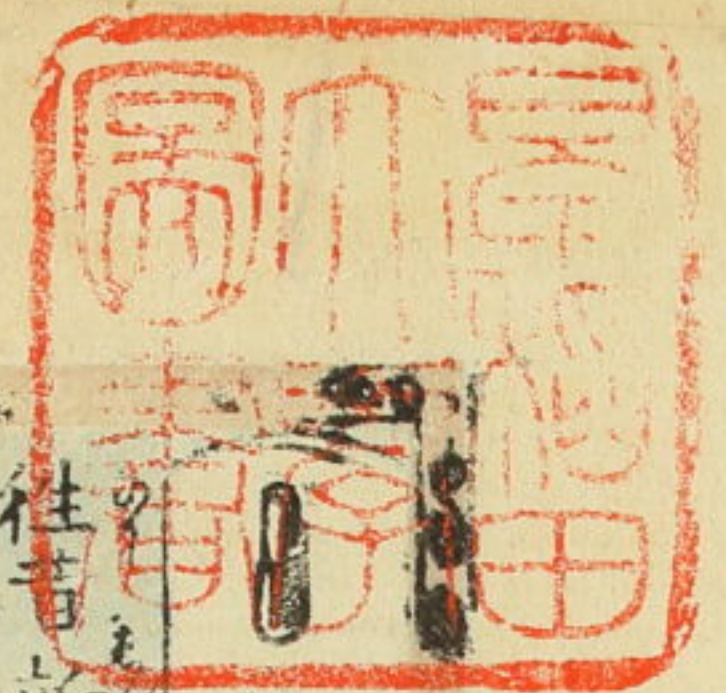
書鋪

浪華心齋鐵懸橋北第五街

文榮堂

早稲田大学 蔵
 35.1.22
 前川 鷹七郎

四十六



教草女房形氣世編

山東葺京山遺州
 鶴亭秀賀編



新言原る扇屋のわらふ花扇とる遊女あり
 容儀の衆み勝るもの

あまのこころをせむく殊み
 諸藝ふ秀就中歌道
 小名を得る故引手
 敷の客の裡ふら
 有徳る町人の
 子息深く馴
 茶で通ひ詰る
 の有るが



尾續七のみに
 或は花扇の方へ文送りたる
 二つありぬをみあふ
 猶々其深切
 其母案下過
 息
 加え
 見

印

四方へのみ... 女房...
 生れ... 外...
 母...
 多...
 花扇...
 歌...
 歌...
 心...




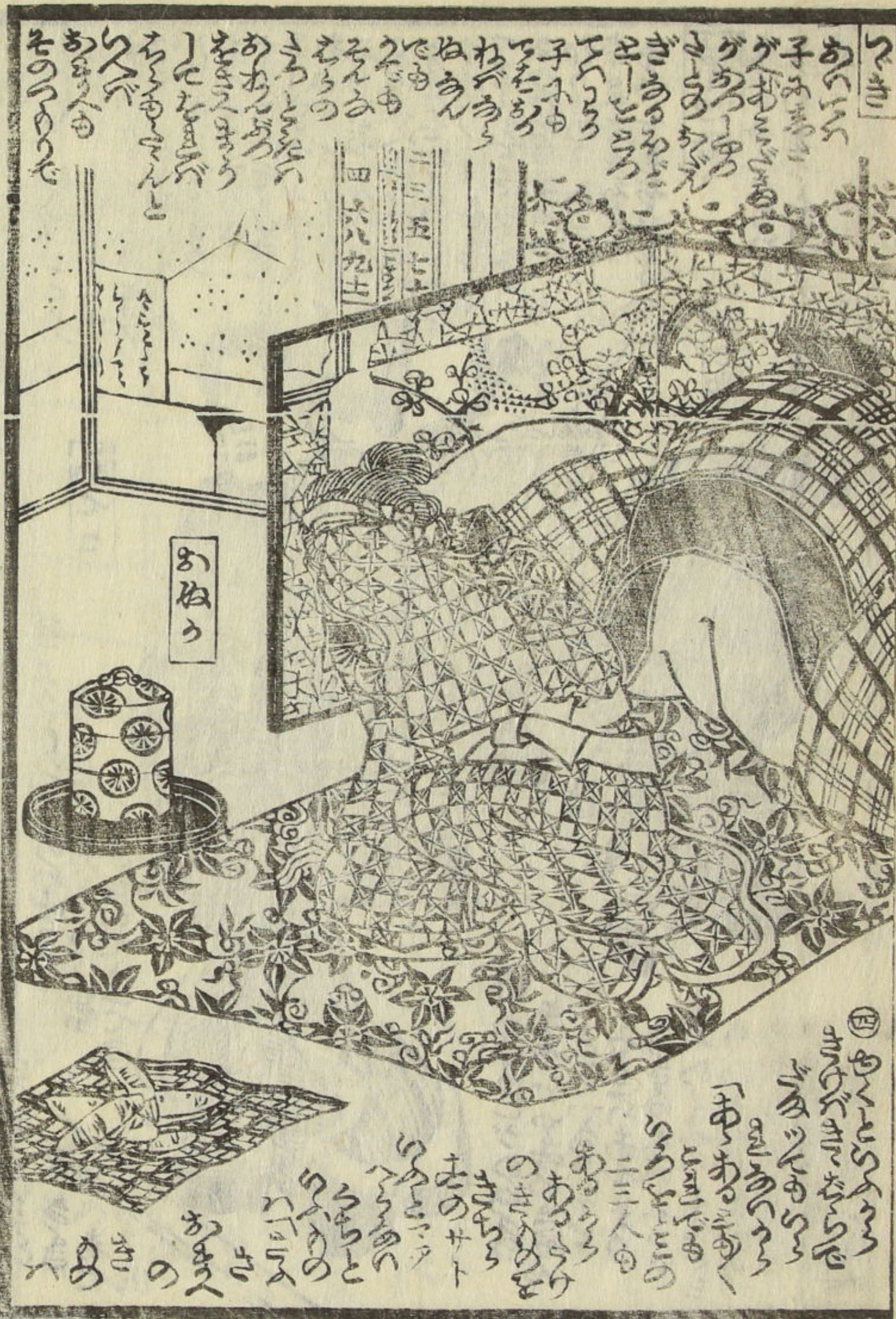
渾家... 遺... 息子... 病... 死...
 花扇... 歎... 大... 髪...
 尼... 朝暮... 佛...
 仕...
 其...
 小... 姑... 孝...
 行... 端... 尤...
 深... 泥... 中... 蓮...
 葉... 稱... 讚... 専... 其... 頃... 評... 判... せ... と
 言... 夫... 程... 共... 夫... 中... 夫... 夫... の
 行... 状... 同... 遊... と... 花... 扇... の... 評... て
 何... 評... 芝... 實... 人... 面... 歎... 心... 也...



終... 非... 業... の...
 未... 采... 者... の...
 照... 併... 天... の...
 美...



女房七四
 遂るみ至る開ハ次編小説を讀得て孝貞の二字の貴を知り
 給へりといふ
 千時慶應元乙丑稿成
 同二丙寅歲初春發兌
鶴亭秀賀識








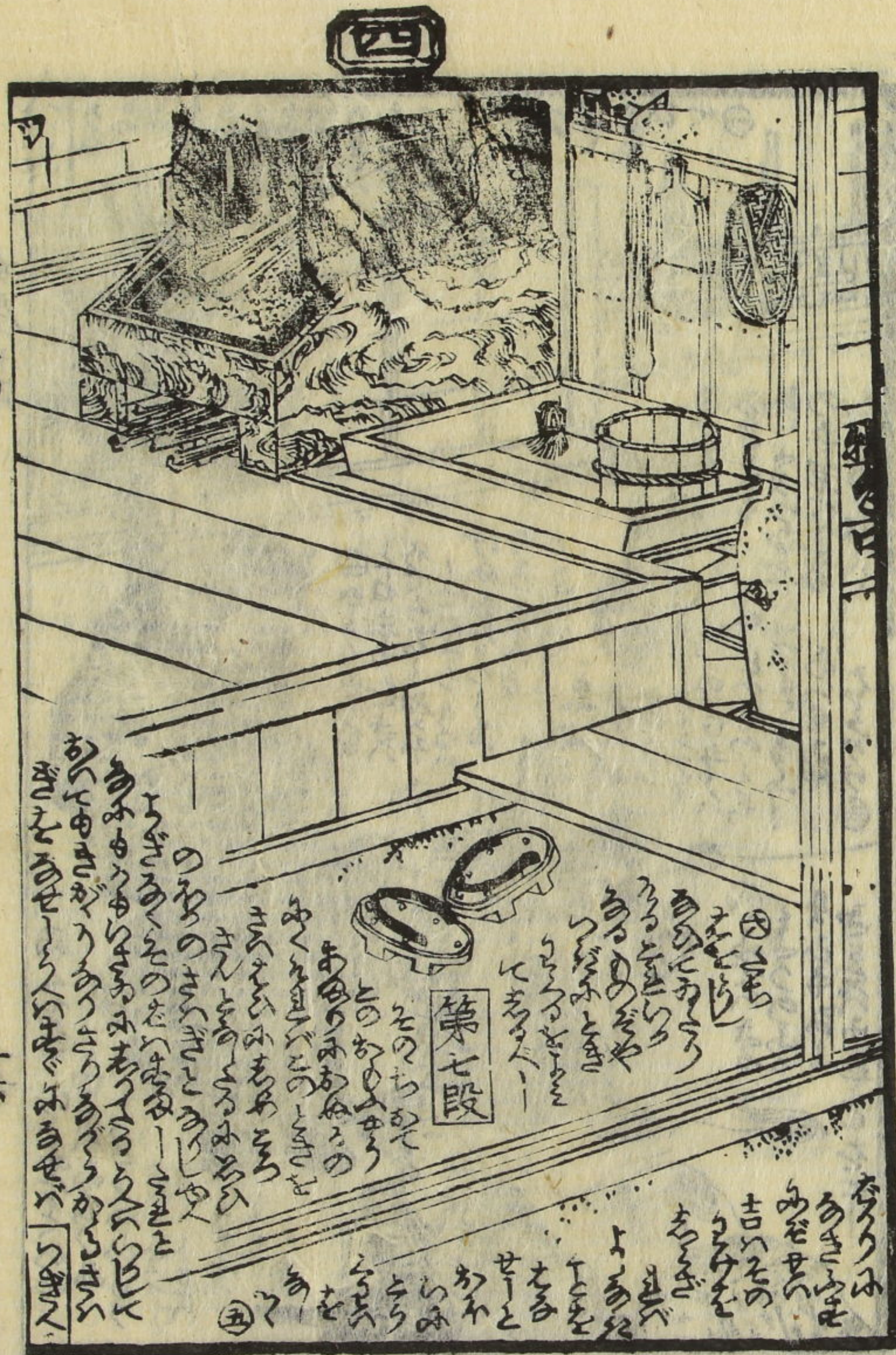
女房の世

十一



女房の世

十一



④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 ⑧
 ⑨
 ⑩
 ⑪
 ⑫
 ⑬
 ⑭
 ⑮
 ⑯
 ⑰
 ⑱
 ⑲
 ⑳
 ㉑
 ㉒
 ㉓
 ㉔
 ㉕
 ㉖
 ㉗
 ㉘
 ㉙
 ㉚
 ㉛
 ㉜
 ㉝
 ㉞
 ㉟
 ㊱
 ㊲
 ㊳
 ㊴
 ㊵
 ㊶
 ㊷
 ㊸
 ㊹
 ㊺
 ㊻
 ㊼
 ㊽
 ㊾
 ㊿

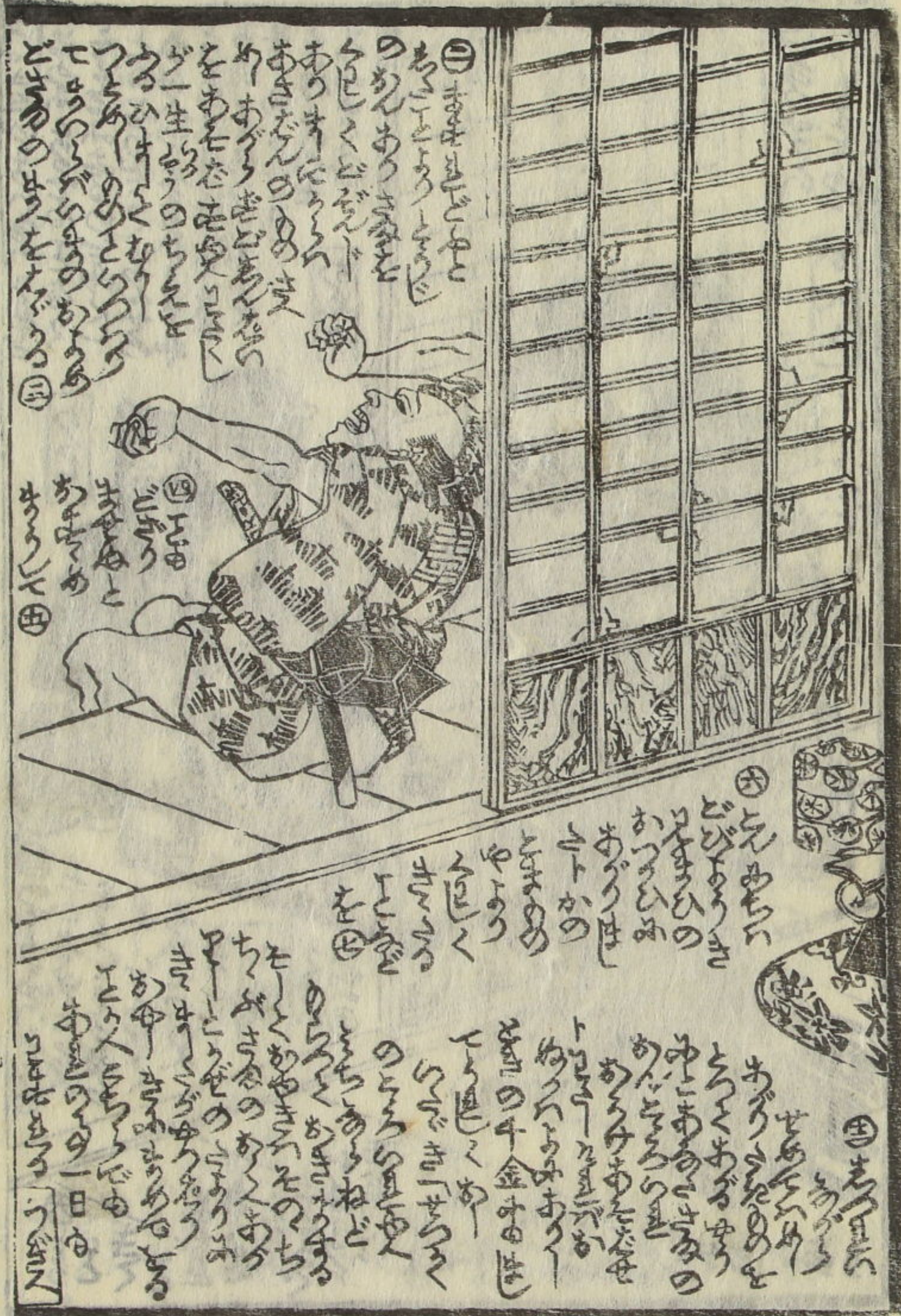


吉五郎
 ①
 ②
 ③
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 ⑧
 ⑨
 ⑩
 ⑪
 ⑫
 ⑬
 ⑭
 ⑮
 ⑯
 ⑰
 ⑱
 ⑲
 ⑳
 ㉑
 ㉒
 ㉓
 ㉔
 ㉕
 ㉖
 ㉗
 ㉘
 ㉙
 ㉚
 ㉛
 ㉜
 ㉝
 ㉞
 ㉟
 ㊱
 ㊲
 ㊳
 ㊴
 ㊵
 ㊶
 ㊷
 ㊸
 ㊹
 ㊺
 ㊻
 ㊼
 ㊽
 ㊾
 ㊿

女房世

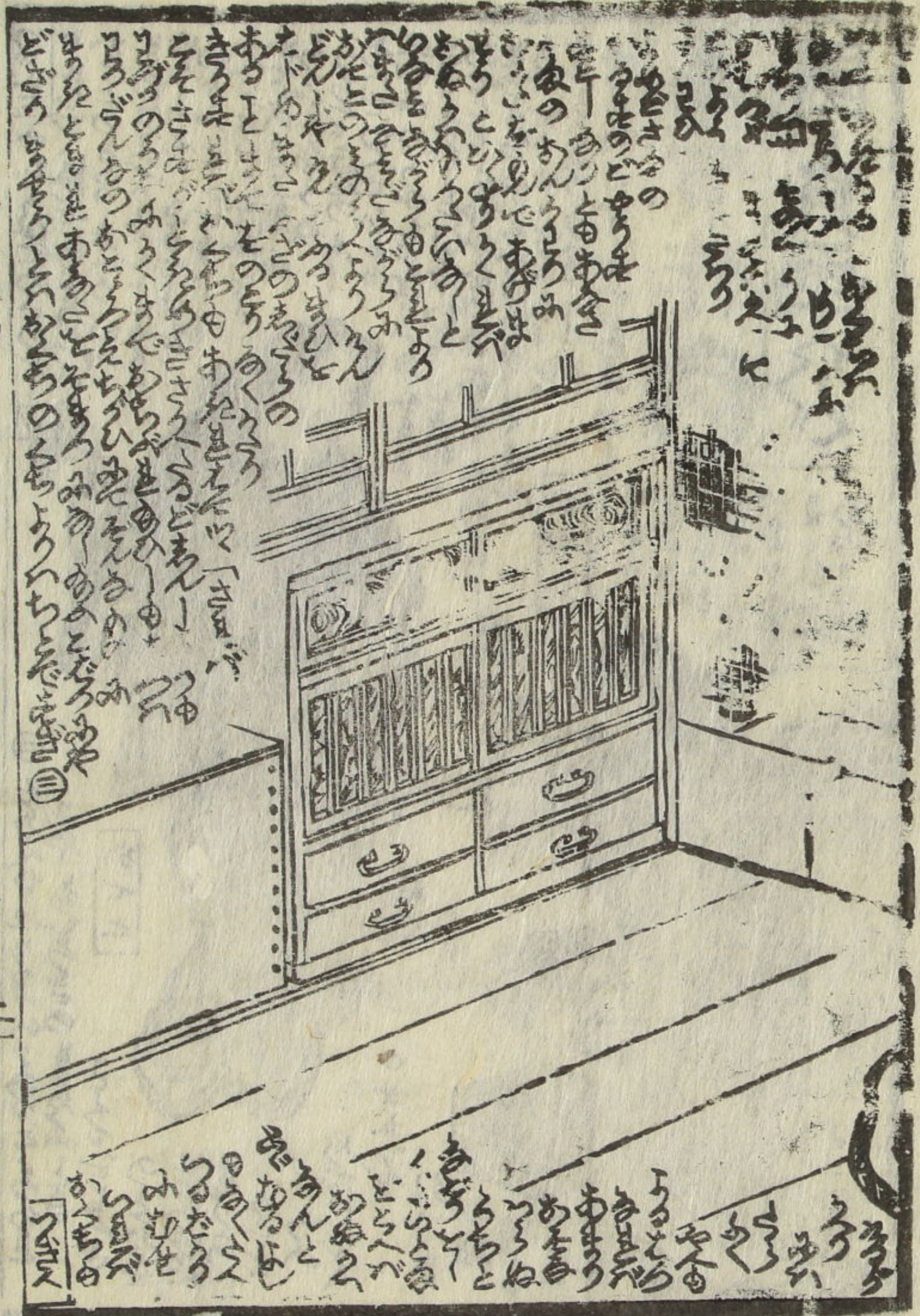
十五





女房廿四

廿七



Handwritten vertical text on the left margin.

Handwritten vertical text on the left margin.



Handwritten vertical text on the right margin.

Handwritten vertical text on the right margin.

Horizontal handwritten text at the bottom of the illustration.

秀賀作の國貞画

○ 七人の侍の...
 ○ 廿五...
 ○ 廿六...
 ○ 廿七...
 ○ 廿八...
 ○ 廿九...
 ○ 三十...

明徳志水著 東源兼校 考繁辭事 文房賞家必用之書也

題画詩剛 全二冊 題画詩選 全壹冊

美観先生撰輯 書畫比白宣 廣用摺懐中本全一冊

書家必用の小冊諸君子常備上は漏置ぬすを
 其自在を得と云ふことあり 實ふ書と紙との君子
 必携し扱易の珍寶とも可錯小冊あり

書肆 大阪北久寶寺町心齋橋 前川源七郎梓

軍談水鏡
續史類全
詩則源類

詩則源類